

競技上の注意

[全般的な事項]

- この大会は、(公財)全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び令和7年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判規程により行います。
- 審判はすべて主管者にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗・個人対抗ともに準決勝より配置します。その他のマッチにおいては原則としてつけません。
- プレーヤーはマッチ開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
- 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
- マッチの進行状況に応じて、予定されたマッチの開始時刻やコートを変更することがあります。放送には十分注意してください。
- マッチを連続して行う場合の休憩は次のとおりです。
<学校対抗> 学校対抗が連続する場合は30分とします。(対戦校決定後15分後オーダー交換、20分後コール、25分後集合、30分後プレー開始を目安とする。)
同一対抗でオーダー上連続しないプレーヤーが連続してマッチを行う場合は、10分間とします。
- <個人対抗> 個人対抗(単・複)が連続する時は20分とします
- インターバル中にアドバイスができるのは、監督・コーチなど同時に2人までです。
主審の「(コート番号)20秒」のコールで、コーチ席(2席設置)に戻ってください。
また、チーム関係者がラケット交換や水分等の補給のために競技区域に入ることはできません。
- マッチ中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。
なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。ラケットやシャトルの交換時、試打は禁止します。
○タオル・ラケット・水分補給用のボトル等は、コートサイドにバッグを持ち込んで保管してください。
○容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用して下さい。
○氷嚢は、コーチ席で保冷バッグなどに入れ保管してください。
- プレーの中止は、主審が認めた場合を除き、一切認められません。なお、インターバル中を除きマッチ中にスプレーの使用は認められません。
- 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。(競技規則第16条)
○体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせること。
○主審の許可なしにコートを離れること。
○インターバル時間を超えてコートにもどらないこと。
○プレーを故意に遅らせたり中断したりすること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
○相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動。
○言葉やジェスチャーでサービスジャッジまたは線審に影響を与えたまゝ、または脅迫しようとする。
○競技規則を超えた不品行または不愉快な行動。
- 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。
(背面の文字は明確に判読できるもの)
- 競技中のケガや病気については、主審がレフェリーコールを行いレフェリーの判断に従うことになります。
- 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。
もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。
ここで質問ができる者とは、学校対抗では当該プレーヤーと監督、個人対抗では当該プレーヤーに限ります。
(監督は「IDカード」を必ずつけてください)
- 競技フロア内では、監督、コーチ、マネージャー及びプレーヤーの携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源をOFFにしてください。
<公認審判員規程第5条第12項(5)(6)>
- コーチ(コーチ席に座る者)はマッチにふさわしい服装で臨んでください。またコーチの着衣についても、背面等の条項が適用されます。
取り決めて反するユニフォームを着用して競技区域に入ることはできません。
- シャトルに回転を加えてから打つ、通称「デコピンサーブ」はフォルトとします。
- その他は、監督会議における打ち合わせ事項の通りとします。

[学校対抗に関する事項]

- 監督、コーチ、マネージャー、プレーヤーの変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。
- 1回戦に出場する学校は、1回戦のコール前に該当会場での練習があります。
詳しくは、公式練習割当表をご確認ください。また、2回戦からの学校には練習会場を割り当てています。詳しくは、練習会場タイムテーブル及びコート割り当表【別表1】を御確認ください。

3. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封してあります。次回戦以降は主審より直接手渡します。
4. オーダー用紙は、5枚複写で記入し、切り取らず5枚とも提出してください。
5. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出して下さい。対戦校立合いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守でお願いします。なお、競技1巡目は8：30とします。2巡目以降の時刻は、放送でお知らせします。
6. 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無い場合は「棄権」とします。
7. コールがあつたら、エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名）は、指定コートのショートサービスライン上に整列してください。（監督は試合時には試合コートに常駐してください）
8. 団体戦において各マッチ前のウォームアップ時間は取りませんが、対戦チームあいさつの後、2分間のチーム練習を指示されたコートで行ってください。
9. マッチは、1回戦より2～3コート並行して行うことがあります。
10. マッチは、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。
11. 勝敗決定後は、対戦チームとあいさつをし、主審の誘導によりプラカードに続いて整列し、勝利チームから退場してください。

[個人対抗に関する事項]

1. 選手の変更は、いかなる場合でも認められません。
2. 個人対抗1回戦に出場する選手は、1回戦のコール前に該当会場での練習があります。詳しくは、公式練習割当表をご確認ください。また、2回戦から出場するプレーヤーには練習会場を割り当てています。
詳しくは、練習会場タイムテーブル及びコート割り当て表【別表2】をご確認ください。
3. コールがあつたら、プレーヤーは、指定のコートに集まってください。
4. 個人戦でのマッチ前ウォームアップは、あいさつの後、主審が審判台に座った時から「（ラブオール）プレー」のコールまでの2分間ですが、主審の「レディ トゥ プレー（マッチ開始の準備をしてください）」のコールで練習を終了し、マッチ開始の準備をしてください。なお、単の場合、対戦者同士で行ってください。その際、シャトルは大会本部が用意します。
5. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、主審の誘導によりプラカードに続いて整列し、勝者から退場してください。

[一般上の注意]

1. 各競技会場の開場は、7：45です。（7、8、9日は8：15）開場後の入場は1巡目のチームまたはプレーヤーを優先してください。
2. 競技者は会場到着後、IDカードを着用（首にかける）の上、入場してください。
3. 各競技上では、担当委員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別を付けてください。
4. 競技フロア内の飲食を禁止します（「競技場の注意・全般的な事項8」に関するものは対象外とします）。
また、クーラーボックスなどのフロアへの持ち込みは禁止します。
床が濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
5. 部旗、応援旗を使用する際は、競技に支障をきたすことがないように配慮してください。（会場によっては本部で旗を預かり、設置する場合もあります。）
大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合は、指示によってすみやかに撤去してください。
6. 応援については、プレーの妨げだけではなく、放送が聞こえず運営に支障が出ること、周囲の観客への迷惑といった理由により、着席のうえ拍手、手拍子、声援、掛け声のみとし、歌および楽器や音を発する道具の使用を禁止したうえで、次の通り制限を設けます。ゲーム中はインプレー終了から、サーバーかレシーバーが次のプレーのため構えをとるまでの間、マッチ前とインターバル中は10秒程度の長さで一度まで、中断時は禁止とします。
監督が責任を持って事前に指導してください。なお守られない場合は、レフェリーより監督へ改善を求めることがあります。
7. すべての競技会場の2F観客席の最前列から2列目までとソルトアリーナ（メインアリーナ）・維新大晃アリーナ（レクチャールーム）1Fの観客席は「応援席」とします。荷物を置いての場所とりはできません。また応援する試合が終わったら速やかに移動するようお願いします。
8. 観客席以外の通路など公共スペースの使用ルールとマナーを守るようにご協力ください。
更衣室や通路などを占有使用することのないよう、監督が責任をもって指導してください。
9. フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影は禁止します。
また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。
10. ゴミは各自で責任を持って持ち帰ってください。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
11. 競技中の疾病、傷害についてはマッチ後の応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
12. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。